

令和5年度 社会福祉法人 賀光会 賀光寮事業報告

賀光寮は救護施設に施設種別を変更して14年が経過しました。

社会福祉法人制度改革が進むなか、賀光寮では、組織運営のガバナンスの向上はもとより、地域からより信頼される「賀光寮」を目指し、地域貢献を目的とした実践を重ねてまいりました。

地域における公益的な取り組みを積極的、継続的に行うため、藤井寺市社会福祉施設連絡会及び大阪府社会福祉協議会の「大阪しあわせネットワーク」の一員として、施設間連携と協働による生活困窮者支援を行い、その一環として、一時生活支援事業、中間的就労等を行いました。中間的就労については利用がありませんでした。

また、地域の保育所等への陶芸教室の実施協力、高齢家族等への環境整備等、地域に向けての貢献活動を行いました。

利用者支援においては、法人の理念、基本方針に基づき、次のことを運営方針とし、利用者主体の質の高い総合的な福祉サービスの提供と作業科やクラブ活動の活性化に努めてまいりました。

そして、厚生労働省の「社会福祉施設等における新型コロナウイルスへの対応の徹底について」に基づき、新型コロナウイルスの感染防止対策に取り組みました。

以下のとおり、令和5年度に実施した事業を報告します。

令和5年度「賀光寮」運営方針

- 1 総合的な福祉サービスの提供
- 2 法令遵守
- 3 専門性の向上
- 4 経営の安定、透明化
- 5 地域共生と情報発信

1 総合的な福祉サービスの提供

(1) 生活支援

個別支援計画に基づき、利用者の意向を重視した支援を効果的に行いました。

ア 日常的な支援

作業、日常生活全般にわたる支援を行いました。

①生活支援	介助入浴、洗濯、清掃、買物などの支援を行いました。
②作業等 巡回支援	居室、作業室、食堂等を巡回し、特に心身に不調のある利用者を中心に、個々の状況を把握し、支援しました。
③夜間支援	夜勤時間帯に定時巡回し、体調の把握等の支援をしました。
④通院支援	定期通院や緊急受診時の同行等の支援や入院されている利用者の病状把握等を行いました。
⑤社会的 支援	新型コロナウイルスのワクチン接種、住民非課税世帯に対する臨時特別給付金の手続き、収入認定報告等について支援しました。

イ 生活相談

第三者委員による巡回相談は、8月を除く偶数月に行いました。

令和5年度は計5回行い、利用者の生活上の悩みや不満等について相談にのっていただきました。

ウ 理学療法

理学療法士による個別のプログラムを毎週火曜日と木曜日を実施し、日常生活機能の維持向上を図りました。計97回、延べ543人に実施しました。

理学療法士による「集団体操」(テレビ体操、イス体操、ストレッチ運動等)は毎週火曜日に実施し、個別プログラムの利用者に加え運動不足の傾向がある利用者および活動性の乏しい利用者に参加を促し、計49回、延べ92人が参加されました。

エ 訪問理容

定期的に訪問理容を設定し、利用者が散髪を行えるようにしました。

(料金1,500円 内1,000円は施設が負担)

令和5年度は、利用者が延べ209人、通所事業の利用者が延べ6人、計215人の利用者が利用されました。

訪問理容利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	21	14	20	18	16	16	17	16	18	18	14	21	209
通所事業利用者	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	6

オ 居宅生活訓練事業及び保護施設通所事業による地域移行支援

地域移行を目指す利用者に生活技能の向上を目的とした支援を実施するとともに、地域移行にあたっては住居の確保や必要物品の購入など、必要な支援を行いました。

居宅生活訓練事業の参加者は、令和4年度からの継続利用が2人、令和5年7月に新規参加者1人が増え、合計3人となりました。

しかし、1人の方が体調不良や精神面での不調のため10月26日に訓練を中断し、その後、入院となり訓練を中止することになりました。

金銭出納、食事内容確認、栄養相談、健康相談や火の始末等の安全管理に関する支援を行いました。

保護施設通所事業は、令和4年6月からの継続利用の1人方に、通所と訪問の支援をしました。

しかし、令和6年6月で保護施設通所事業利用期間の1年が過ぎ、措置機関が変更となり、変更になった措置期間へ保護施設通所事業の利用延長の申請をしましたが、申請が認められず、そのため、ボランティアとして、日中の賀光寮の作

業に来ていただき支援しました。本人は近隣住民の方との関係に悩み、保護施設通所事業の利用申請が認められなかったこともあり、10月の下旬に本人の希望で、母親の自宅のある市に転居され、転居先で生活保護の申請をされました。

カ 食事

食事は生活の楽しみの一つであるため、嗜好調査を参考に献立を作成し、また、健康の維持増進を考慮し、次のことを重視して実施しました。

- ① 障がいの状況や病状に応じて、献立を調整しました。
- ② 季節を感じ、美味しく食事をしていただけるよう、次表のイベント食などで献立に変化をつけました。
- ③ 給食委員会を毎月実施し、賀友会代表、栄養士及び支援員が参加し、利用者の意見を献立に反映しました。
- ④ 嗜好調査を11月に実施し、そこでの意見を献立に反映しました。

【イベント食・行事食・おやつ】

月	イベント食	季節のメニュー	行事食	おやつ
4月	中華バイキング (鶏のから揚げ、春巻き等)	菜の花ちらし寿司	花見弁当	苺ケーキ
5月	かつおのタタキ 代替：サイコロステーキ	ちらし寿司 柏餅		ワッフル
6月	天ぷらバイキング ざるうどん		バーベキュー	どら焼き (カスタード味)
7月	うな井	七夕そうめん		バニラ アイスクリーム
8月	ざるラーメン			桃のタルト
9月	サイコロステーキ オムライス	敬老の日：ちらし寿司 お月見ハンバーグ		おはぎ 代替(今川焼き)
10月	チャーシュー丼	ハロウィンメニュー	災害時備蓄食 (和風ハンバーグ、 ご飯、つくねと野菜 のスープ、水)	エクレーア
11月	おでんバイキング (卵、大根、牛すじ、こんに ゃく、厚揚げ、竹輪等)	秋野菜メニュー (炊き込みご飯等)	ミニフェス (たこ 焼き、ミニカレー、 フランクフルト、デ ザート)	バームクーヘン
12月	クリスマスメニュー (サイコロステーキ、 グリルチキン、エビフライ 等 クリスマスケーキ)		年忘れ会 (握り寿司、ヒレカツ 等)	
1月	すき焼き (1人鍋)	1/1～1/3 朝食：雑煮 昼食：おせち料理 七草がゆ		ぜんざい 代替(ドーナツ)
2月	カレー鍋 (1人鍋)	節分 巻き寿司	回転寿司	蒸しパンケーキ
3月	海鮮丼 代替(牛焼肉丼)	ひな寿司		牡丹餅、代替(はちみ つケーキ)

【配慮食の状況】

配慮食の延べ人数 26人 令和6年3月31日現在

内 容	対象人数	内 容	対象人数
軟 飯	5	アレルギー食	3
減塩食	4	腎臓 透析食	1
糖尿食	3	きざみ食	10

【令和5年度栄養摂取目標量及び栄養摂取状況】

	熱量 Kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシ ウム mg	鉄 mg	レチノ ール 当量 ug	ビタミン B 1 mg	ビタミン B 2 mg	ビタミン C mg
基準量	2200	65.0	61.0	750	7.5	900	1.30	1.50	100
4月	1915	65.5	51.0	682	7.1	979	1.52	1.41	94
5月	1921	65.5	50.0	676	7.0	877	1.49	1.36	88
6月	1903	64.4	49.3	688	7.0	1053	1.52	1.39	95
7月	1921	66.4	49.8	708	7.3	1039	1.53	1.40	94
8月	1921	64.3	51.1	685	7.1	938	1.52	1.45	106
9月	1911	64.4	50.7	683	6.9	996	1.50	1.36	94
10月	1849	63.4	47.8	678	6.7	1034	1.45	1.37	90
11月	1899	65.0	50.8	709	7.1	993	1.44	1.39	96
12月	1920	66.6	51.8	680	7.0	946	1.49	1.37	94
1月	1941	67.5	47.7	703	7.3	980	1.52	1.49	106
2月	1893	64.4	50.3	700	7.5	1008	1.42	1.31	85
3月	1913	65.7	49.2	684	7.4	972	1.53	1.48	102
計	23214	802.1	604.8	7897	87.1	12301	18.27	17.0	1151
平均	1935	66.8	50.4	658	7.3	1025	1.52	1.42	96

(基準量の±20%以内が適量) (レチノール活性当量=ビタミンA)

キ 健康管理

利用者の健康情報を全職員が共有し、福祉事務所、医療機関と連携して、健康管理、健康増進、感染症予防に努めました。

具体的な対策は次のとおりです。

- ① インフルエンザ予防接種 (11月実施)
- ② 服薬管理支援
- ③ 健康診断を年2回実施しました。

歯科検診は、10月に実施しました。参加利用者は9人でした。令和5年

5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行しました。しかし、現時点では集団で、従来での歯科検診を行うとクラスター発生の危険が高い為、歯科医の指導の下、感染防止対策を行い、感染リスクの最も高い歯磨きの個人指導は中止し、健診と指導のみで行いました。

④ 通院及び受診付添支援

⑤ 感染予防支援

新型コロナウイルス感染防止対策としては、

- ・外出から帰った時や食事前等に手洗いやうがい、手の消毒の実施を呼びかけました。
- ・利用者や職員には、毎朝の検温とその記録をするとともに発熱の確認をしました。
- ・来訪者の受付時に、検温による発熱確認をし、それを記録しました。
- ・居室等は、午前と午後に1回以上窓を開けて換気をしました。
- ・利用者へマスクを配付し、着用の注意喚起をしました。
- ・手摺やドアノブ等は、午前と午後に各1回以上、アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒を行いました。
- ・車両の使用時と使用後には、アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒を行いました。

そして、新型コロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザやノロウイルス等の感染症が疑われる状況が発生した場合は、早期の受診、個室の利用など感染の拡大を防ぐための体制を整えました。

利用者、職員ともにノロウイルス、インフルエンザの感染者はいませんでした。

新型コロナウイルスのワクチン接種のため、利用者の措置機関である福祉事務所へ相談し、利用者の住民票のある市町村にワクチン接種券の申請手続きを行い、ワクチンの3回目以降の接種に必要な支援を行いました。

新型コロナウイルスワクチン接種3回目3人、4回目1人、5回目14人、6回目4人、7回目18人がワクチン接種を行いました。

1人の利用者の方が、ワクチン接種を1回された後は、2回目以降のワクチン接種を、希望されず、接種されませんでした。

大阪府の要請により、令和5年度は、週2回の抗原検査を実施していましたが、令和6年3月末に大阪府の要請で終了しました。

令和5年5月15日に職員1人が新型コロナウイルスに感染発症しました。賀光寮の利用者は、新型コロナウイルスの感染はありませんでした。

【賀光寮診療所の診察件数】

令和5年度各月延べ件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
診 察	1	3	1	1	2	2	2	3	4	3	4	10	36
(内服処方)	1	2	1	1	2	2	1	2	4	2	3	10	31
(外 用)	0	1	0	0	0	0	1	3	0	1	1	1	8

インフルエンザ 予防接種									45					45
-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	----

(2人がインフルエンザ予防接種を拒否)

(賀光寮診療所以外で予防接種を受けた方は、1人)

【健康診断】

令和5年度各月延べ人数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受診人数	2	3	2	10	23	9	2	0	1	2	39	4	97

【人工透析状況】

令和5年度各月延べ人数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
藤井寺敬任会 クリニック(1人)	13	14	13	13	13	13	13	13	14	13	12	13	157

【入院の状況】

令和5年度各月延べ人数(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	34	100	143	140	129	91	61	33	41	19	28	36	855
延べ日数	30	31	30	31	31	30	31	30	20	19	28	31	342

【他医療機関受診状況】

令和5年度各月延べ人数(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
内 科	十川クリニック	4	5	1	7	20	18	34	31	27	28	40	29	244	
	中本クリニック	3	2	2	2	2	2	4	2	3	3	3	3	31	
	藤井寺市民病院	0	1	3	3	1	2	1	1	1	1	1	1	16	
	はびきの医療センター	3	2	3	2	3	1	3	3	1	2	3	2	28	
	城山病院	0	2	2	0	0	1	0	4	1	1	2	7	20	
	よしおか泌尿器科	2	1	3	6	1	2	1	2	3	1	3	3	28	
	敬任会分院 (藤井寺腎・透析クリニック)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3
	藤本病院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4
	南河内おか病院	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2
	青山病院	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	八尾徳洲会病院	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	柏原病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	ナワタクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	松原徳洲会病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
整形外科	岩本整形外科	29	23	18	18	18	28	24	26	19	24	20	20	267	
	城山病院	0	2	1	2	6	1	0	1	2	1	1	1	18	
	高村病院	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	2	0	9	
	島田病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	
科外	青山脳神経外科	2	0	0	0	1	3	0	1	2	5	3	0	17	

	青山病院	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
	八尾総合病院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	城山病院(脳神経外科)	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	4
眼科	にしごり眼科	2	3	2	3	2	1	0	1	3	3	1	2	23
	今井眼科	1	2	2	4	2	2	1	1	5	1	2	1	24
	はびきの医療センター	0	2	0	0	1	1	0	1	2	1	0	0	8
	第二大阪警察病院	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	城山病院(眼科)	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
耳鼻科	たかの耳鼻科	5	4	4	5	2	1	1	1	1	2	2	4	32
	八尾市立病院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	はびきの医療センター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
歯科	上杉歯科	6	7	5	3	2	7	8	1	5	3	5	7	59
	なんばクローバー歯科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	葭矢皮膚科	2	2	2	5	3	2	1	2	2	2	1	1	25
精神科・診療内科	国分病院	0	3	2	3	2	3	0	2	3	3	3	1	25
	丹比荘病院	17	16	14	13	15	15	11	13	15	12	14	19	174
	林クリニック	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ながいクリニック	2	2	2	2	2	2	2	3	1	6	2	4	30
	さわ病院	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計		82	82	70	81	89	97	92	96	103	107	108	119	1126

ク 自治会活動

賀友会(利用者自治会)の定例会議を毎月開催し、行事や食事、健康管理、生活などの課題や要望等について話し合い、利用者の意見をサービス提供や行事等に反映しました。計12回、延べ162人の利用者が参加しました。

ケ レクリエーションの実施

令和5年度実施レクリエーション

実施月	行 事	内 容
毎月	七宝クラブ	毎月2回実施しました。ブローチやペンダントの製作を行いました。今年度は14回実施しました。
	寮内喫茶	月1回、コーヒー、紅茶、ジュース類、お菓子などを喫食し、利用者間の交流の場として実施しました。
	誕生会	利用者の誕生日を祝うため、各誕生月の利用者の希望をもとに飲食店に行き、会食を行いました。
4月	花 見	新型コロナウイルス感染防止対策のため、花見外出は中止しました。4月5日に代替えとして花見気分を味わうため、弁当を注文し、賀光寮敷地内で食事を楽しみました。
5月	イベント湯	季節の移り変わりを感じていただくため、5月9日に菖蒲湯を実施しました。17人の利用者が入浴されました。
6月	行 事 食	食を楽しみ、食生活に変化をつけるため、6月17日にポプラと合同で「バーベキュー」を実施しました。新型コロナウイルスへの感染予防を徹底し、行いました。

10月	賀光会 バザール	新型コロナウイルス感染防止対策のため、3密(密閉、密集、密接)を避けることが難しいと判断し、賀光会バザールは次年度に延期し、賀光会ミニフェス 2023 を実施しました。
11月	救護施設合同 文化事業	第21回救護施設合同文化事業が開催されたので、展示部門に作品を出展し、舞台発表は見学参加しました。
	日帰り旅行	新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止しました。
12月	もちつき	新型コロナウイルス感染防止対策のため、中止しました。
	年忘れ会	12月27日に年忘れ会を実施しました。例年実施していたビンゴ大会の代わりにくじ引きを行いました。
2月	行事食	2月14日に回転寿司を行いました。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため行なっていなかった、回転寿司のレーンを設置して利用者に回転寿司を楽しんでいただきました

コ 災害対策

新型コロナウイルス感染拡大に落ち着きがみられたため避難消防訓練を6月20日に昼間想定で実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、避難誘導時にマスクの着用と、避難場所へ集まっていた時に、隣の方との距離を十分に取っていただき避難訓練を実施しました。消防署に立会をしていただき、消防署から水消火器を借用し、消火訓練を行いました。

10月21日は、賀光寮とポプラの合同で地震を想定した自主防災訓練を実施しました。訓練の終了後に賀光会職員・利用者で備蓄食の喫食体験を行いました。

また、備蓄食品の賞味期限の確認と併せて、簡易テント、発電機、ヘルメット等の防災機器の点検を行いました。

同日開催された、南藤井寺自主防災会主催の防災講習会に、職員と利用者の代表者が参加しました。

また、災害時対応と感染症対応のBCP（事業継続計画）の作成をおこないました。

サ 環境衛生

寮内を清潔に保つために入浴設備、トイレ、居室、廊下、手すりなどを、マニュアルに沿って日常の清掃をしました。

シーツ交換日（2週間に1回）には居室等の床を塩素系薬品で消毒しました。令和5年度は52回行いました。

シ 臨時給付金受け取り支援

緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置は出されませんでした。大阪府が府民に、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針に基づき、感染対策に関する協力要請をされました。

また、住民税非課税世帯等への臨時特別給付金が給付されることになり、この臨時特別給付金申請の支援を行いました。

支援の結果、利用者41人がこの給付金を受け取りました。

しかし、3人の利用者が給付金を受け取られていません。1人の利用者は戸籍が無く住民基本台帳に登録されていないため、給付金申請の権利がなく、申請手続きができませんでした。

また、一人の利用者は、親との世帯分離が出来てなく、実家が非課税世帯ではなかったため、給付金申請の権利がなく、申請手続きができませんでした。

最後の1人の利用者の方は、職員が申請を勧めましたが、申請を拒否されました。

(2) 作業支援

利用者に自信をもたらし社会参加を促進するために作業支援を実施しました。

利用者の個別支援計画に基づき、障がい特性と医療的状況に配慮して行いました。

【作業科目別人員】

令和6年3月31日現在(単位:人)

	陶芸	農園芸	環境整備	OA	洋服リフォーム	ライトワーク	外部アルバイト	所属なし	合計
入所	1	5	7	1	0	12	0	26	52
保護施設通所事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作業科ボランティア	0	1	1	0	1	0	0	0	3

※農園芸、環境整備の両科に所属している利用者2人

ライトワーク、環境整備、農園芸に所属している利用者2人

環境整備、農園芸、陶芸に所属している利用者1人

農園芸、環境整備、洋服リフォームの3つの科に所属しているボランティア1人

【作業科別売上】

令和5年4月1日～令和6年3月31日(単位:円)

作業科目	内容	売上額
陶芸	干支の土鈴等作成、陶芸教室開催	149,600
農園芸	野菜・果樹の育成	89,500
環境整備	樹木の消毒・剪定・除草	547,504
OA	パソコンによる文書作成、きずなの印刷・製本	17,370
リフォーム	ズボンなどの裾あげや雑巾等製作	12,000
ライトワーク	小さな段ボール箱組立等	413,377
合計		1,229,351

売上は前年度に比べ、231,075円減少しました。(前年度 1,460,426)

2 法令遵守

(1) 個人情報保護

利用者の個人情報について、個人情報保護規程を遵守しました。

(2) 身体拘束・虐待の禁止

運営管理規程と行動規範に基づいて、利用者への安心・安全なサービス提供に努めました。身体拘束廃止委員会を毎月開催し、身体拘束の状況について確認しまし

た。身体拘束はありませんでした。

(3) 自己チェック

理念、倫理綱領、行動規範、人権尊重やコンプライアンスへの支援員の自己チェックについて、令和5年度は、コンプライアンスの自己チェックを3月に実施する予定でしたが、出来なかったため、令和6年度の前期に実施する予定です。令和5年度はコンプライアンスに関わる出来事はありませんでした。

また、年度毎に各項目をかえて実施し、職員の意識向上を図っていきます。

3 専門性の向上

(1) 職員研修

職員の資質を向上し、サービスの質を高めるために、職域内研修と職域外研修を行いました。

令和5年度は、次表のとおり実施しました。

【職域外研修】 (17 件)

(単位：人)

研修内容	回数	延べ参加人数
地域（地域貢献・地域移行・啓発）	5	6
人権（藤井寺市社会福祉協議会：人権研修会）	1	1
医療（感染症対策研修・食中毒予防対策）	2	6
栄養（衛生講習会）	1	1
運営（管理運営・経営者セミナー、経理研修、労働研修、防災研修など）	8	13

【職域内研修】 (17 件)

(単位：人)

研修内容	延べ参加人数
理念研修（4月）	15
新型コロナウイルス等の感染拡大の防止についての研修 (4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月)	158
介護技術研修（11月、12月、1月、2月）	44

(2) サービスの質の向上

利用者個々の支援についての検討、職員間の情報共有、支援の標準化、業務改善等を目的に、支援会議を月に2回以上、計23回実施しました。

(3) 苦情解決

苦情・要望については、ホームページで公表し、苦情解決システムの適切な活用を図るとともに、第三者委員による巡回相談を行いました。

また、苦情をニーズとして受け止め、サービスの質の向上に努めました。

(4) リスク管理

危機管理マニュアルに基づき、ヒヤリハット 20 件（薬の落下、誤薬、転倒、無断外出他）、事故報告 49 件（誤薬、転倒、無断外出、暴力他）の内容を毎月の職員会議で報告し、更にその発生がどうして起きたのか、どうすれば防げたのかを検証し再発の防止に努めました。

4 経営の安定、透明化

経営安定のため、福祉事務所、関連病院及び地域生活支援センター等の関連機関と連携し、入所定員を充足するように努めました。

触法者 7 人の入所を受け入れ、また、可能な限り緊急一時入所者（令和 5 年度 13 人）を受け入れました。一時生活支援事業の利用者は、1 人の方が利用されました。

経営情報を賀光寮の広報誌とホームページ及び全国経営協ホームページに公開して透明性を図りました。

5 地域共生と情報発信

(1) 社会貢献

地域福祉に貢献するため公益的な取組等を行いました。

ア 生活困窮者等の支援のための相談受け入れを行いました。

イ 「大阪しあわせネットワーク」による生活困窮者への支援を実施しました。

ウ 藤井寺市社会福祉施設連絡会の定例会議に出席しました。また、施設間協働による地域貢献活動（藤井寺市社協のフードバンクへの協力等）をしました。

(2) 地域貢献

ア 地元自治会の「南藤井寺ふれあいまつり」に参加しました。感染防止のため昨年まで中止されていましたが、令和 5 年度は 8 月 26 日（土）に再開されました。

イ 震災等の災害時に、避難場所や地域の方々に貢献するための備品、食糧等を準備しました。備蓄食は、地域の方用に 20 人分（3 食×20 人×3 日＝180 食）を準備しています。

ウ 社会福祉現場実習、介護等体験の受け入れはありませんでした。

エ 地域の要請に応え、陶芸教室を行いました。

令和 5 年度は陶芸教室の依頼が 7 ヶ所からあり、地域貢献のため、依頼先へのボランティアの派遣と陶芸作品の作成支援を行いました。

（単位：人）

団 体 名	回数	人数
障害者地域生活支援センターわっと	2	24
藤井寺市立藤井寺第1保育所	1	22
道明寺こども園（第2保育所）	1	38
藤井寺市立藤井寺第3保育所	1	29
藤井寺市立藤井寺第4保育所	1	13
藤井寺市立藤井寺第5保育所	1	12
藤井寺市立藤井寺第6保育所	1	14
合 計	8	152

(3) 地域交流

地域の一員として、交流を促進するとともに地域福祉の向上を図りました。

ア ボランティアの受け入れを次表のとおり行いました。

【ボランティア】

陶芸作業	延べ450人
------	--------

イ 賀光会バザールは、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、3密(密閉、密集、密接)を避けた実施が難しいと判断し、賀光会バザールを来年度に延期しました。

令和5年は地域住民の参加は見合せ規模を縮小し、賀光寮利用者を対象とした賀光会ミニフェス2023を実施しました。

ウ 地域と協働したもちつき大会(12月)を、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止しました。

エ 地域行事の「南藤井寺ふれあいまつり」(南藤井寺地区主催)は、8月26日に開催され、賀光寮は「あてもの」と「陶芸」「七宝焼き」の作品販売を行いました。

(4) 広報活動、

ア 広報誌「きずな」を賀光会として年2回、年間約600部を発行しました。利用者、関係機関、理事、監事、評議員、行政、ボランティア、地域住民、賀光寮退所者、利用者家族、職員へ配布し、経営情報の掲載及び行事や日常的活動の紹介をしました。

イ 賀光会ホームページを令和6年1月に更新しました。

ウ 今年度は8月26日(土)に開催された「南藤井寺ふれあいまつり」(南藤井寺地区主催)等の地域の行事に参加し、施設の広報を行いました。

6 統計

(1) 年度末在籍者人員 (一時入所を含む) 令和6年3月31日現在 (単位:人)

		令和4年度	令和5年度
救護施設入所		41	44
(居宅生活訓練)		(3)	(2)
通所事業	通所	1	0
	訪問	1	0

(2) 月別在所者数 (月末人数) (単位:人)

令和4年度 (平均入所者数 41.9人)		令和5年度 (平均入所者数 45.3人)	
月	入所者数	月	入所者数
4月	43	4月	41
5月	44	5月	44
6月	44	6月	46
7月	43	7月	45
8月	43	8月	47
9月	43	9月	45
10月	40	10月	45
11月	40	11月	47
12月	39	12月	46
1月	42	1月	46
2月	41	2月	47
3月	41	3月	45

(3) 年齢構成 (平均年齢 65.9歳) 令和6年3月31日現在 (単位:人)

	年齢階層別								合計
	29以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80以上	
人数	1	1	5	6	3	8	11	9	44

(4) 障がい別人数 令和6年3月31日現在 (単位:人)

障がい	身体障がい							他の障がい		合計 (内重複障がい)
	音声言語	視覚	心臓	腎臓	呼吸器	直腸	肢体	知的	精神	
人数	0	2	2	1	2	1	4	4	9	25 (2)

(5) 入所期間 令和6年3月31日現在 (単位:人)

入所期間	1年未満	1~2年未満	2~3年未満	3~5年未満	5年以上	合計
人数	7	5	1	3	28	44

(6) 入退所の状況 (一時入所の入退所含む) 令和5年4月1日~令和6年3月31日 (単位:人)

令和4年度		令和5年度	
入所	退所	入所	退所
12	15	14	11

(7) 退所者の内訳 令和5年4月1日~令和6年3月31日 (単位:人)

	入院	帰宅	施設変更	地域生活	就職	病死	その他	合計
令和4年度	3	1	1	0	0	1	9	15
令和5年度	2	0	0	0	0	0	9	11

(8) 措置機関別のべ利用者数 (合計44人) 令和6年3月31日現在 (単位:人)

措置機関	人数	措置機関	人数	措置機関	人数	措置機関	人数
大阪市	10	茨木市	4	豊中市	1	摂津市	2
交野市	2	枚方市	4	高石市	1	松原市	1
東大阪東	1	東大阪西	1	富田林子ども家庭センター	1	藤井寺市	7
淡路市	2	袋井市	1	木津川市	1	吉野市	1
羽曳野市	1	※宝塚市	1	貝塚市	1	和泉市	1

※自費入所の方は1人です。

(9) 公益的事業の実施

事業	回数・人数
相談支援事業	32件
しあわせネットワーク	なし
藤井寺市施設連絡会会議出席	7回・13人
緊急一時入所	13人
一時生活支援事業	1人
生活困窮者就労訓練事業	なし